

メセナ
講演会

耳のしくみと難聴・耳鳴りのお話 —赤ちゃんから高齢者まで—

協働開催：公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会（SPIO）
公益財団法人文京アカデミー

聴覚はコミュニケーションをとるための大切な器官です。第1部では難聴や耳鳴りに対する医療の進歩について、自らが補聴器、人工内耳使用者で体験を踏まえてのお話。第2部ではブータン王国における鼓膜再生手術の支援についてご紹介します。

日時

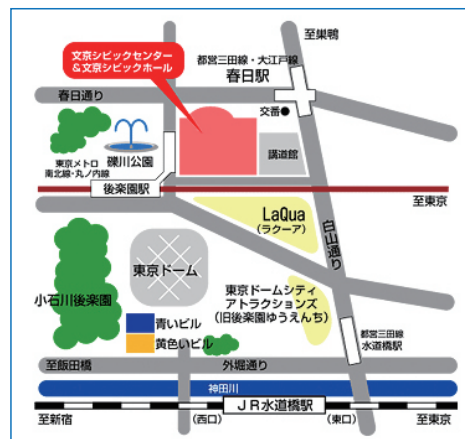
平成26年9月27日 土

開場 13:30 開演 14:00

場所

文京シビックセンター26階
『スカイホール』

東京都文京区春日1-16-21



プログラム

* 敬称略

司会

副理事長 市川 銀一郎（順天堂大学名誉教授）

はじめに

14:00~14:10

聴こえのしくみの話

理事長 野村 恭也
（東京大学名誉教授）

第1部

14:10~14:50

赤ちゃんから高齢者まで難聴・耳鳴りの医療における
補聴器や人工内耳の進歩

講師：医療法人萌悠会 神田E・N・T医院 神田 幸彦

第2部

15:00~15:40

ブータン王国における耳手術ボランティア活動
—SPIO支援「途上国耳科手術支援事業」—

講師：医療法人仙台・中耳サージセンター将監耳鼻咽喉科 湯浅 涼

お問合せ 事務局

公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会（SPIO）

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-5 お茶の水小柳出ビル1階

Tel 03-5684-3707 / Fax 03-5684-3708 Email: 3387@spio.or.jp

略歴

昭和62年 長崎大学耳鼻咽喉科学教室入局
平成元年 日赤長崎原爆病院耳鼻咽喉科医長 以降関連病院。
平成9年 Würzburg Univ. ドイツ、ビュルツブルグ大学耳鼻咽喉科留学
人工内耳手術、リハビリテーション、補聴器を学ぶ
平成10年 長崎大学耳鼻咽喉科
平成13年 6月 開業
平成13年～ 長崎大学耳鼻咽喉科非常勤講師
平成13年～現在 東北大学耳鼻咽喉科非常勤講師
平成20年～現在 長崎大学医学部耳鼻咽喉科臨床教授



講演名

赤ちゃんから高齢者まで難聴・耳鳴りの医療における補聴器や人工内耳の進歩

要旨

2014年現在、難聴や耳鳴りにおける医療は急速に進歩してきています。新生児聴覚スクリーニング、難聴遺伝子診断、軽度～中等度難聴の小児に対する補聴器助成の全国的な広がり、薬で効果のない耳鳴りに対する音響療法、あらゆる難聴における補聴器テクノロジーの発展、人工内耳医療の進歩などです。本来、聴覚は楽しむため、コミュニケーションするためにある大事な器官です。近未来的な技術や医療の進歩も交えながら報告予定です。

略歴

昭和38年3月 東北大学医学部医学科卒業
昭和39年4月 東北大学医学部耳鼻咽喉科学教室入局
昭和43年3月 東北大学医学部大学院卒業
昭和48年1月 東北労災病院 耳鼻咽喉科部長として赴任
昭和51年12月 「フィブリン糊を用いた簡易な鼓膜形成術（接着法）」を発表し、本術式が全国的に普及し、中耳手術の低侵襲化に貢献
平成5年9月 東北労災病院を退職
平成5年10月 将監（ショウゲン）耳鼻咽喉科院長に就任
平成8年4月 日本耳鼻咽喉科学会認定研修施設「仙台・中耳サージセンター」理事長に就任
平成12年4月 東北大学医学部初代臨床教授を併任
平成14年3月 同上職を定年退職
平成24年6月 東日本大震災直後に来日したブータン国王第5代ワンチュク国王・王妃両陛下の被災地福島への慰霊訪問に感銘して、ブータン王国におけるボランティア耳科手術のための現地調査
平成24年12月 SPIO支援事業「途上国耳科手術支援事業」として、募金活動開始
平成25年4月 第一回事業をブータン首都ティンプーにて27耳を手術
平成25年10月 第二回事業を同地で、25耳を手術
平成26年9月 第三回事業を同地で、27耳を手術



講演名

ブータン王国における耳科手術支援事業ボランティア活動

要旨

ブータン王国は、東日本大震災直後にワンチュク国王・王妃両陛下が被災地を訪問し、犠牲者に祈りを捧げた報道後、わが国での関心が高まった。同国の経済は極貧に近い状態で、医療状況も厳しく、耳鼻咽喉科医は首都に5名のみである。そこで、SPIOのご支援により、「ブータンにおける耳科手術」をボランティア活動として2013年4月からスタートした。本年9月に第三回事業を行い、現地医師、看護師の技術習得も課題とした。今回の公開講座はこれまでの本事業活動内容の報告と同時に、今後の活動方針、課題、問題点などにも言及する。